

命を守る！塾で学ぶ防災訓練！ 2025年4月5日（土） 明光義塾九大学研都市教室にて開催しました

個別指導の「明光義塾」を運営する、株式会社明光ネットワークジャパン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：岡本 光太郎）は、2025年4月5日に明光義塾九大学研都市教室において福岡市消防局の協力を得て、防災訓練を実施いたしました。本訓練は、西方沖地震発生から20年、熊本地震発生から9年を迎える中、教室現場で大地震が発生した際に、生徒の安全を確保することを目的とし、教室長・講師の防災意識を高める機会とするものです。



防災訓練実施の背景

日本は地震が多発する国であり、過去の大地震においても教育現場での迅速な対応が求められてきました。特に西方沖地震や熊本地震の際には、学校や塾の現場でも被害が発生し、生徒の安全確保が課題となりました。

当社は、個別指導塾「明光義塾」を全国に展開しており、多くの生徒が教室に通っています。そのため、万が一の災害時に、生徒を安全に避難させるための適切な対応を学ぶことは、教室スタッフにとって重要な責務です。今回の防災訓練は、実際の地震発生時に迅速かつ的確な行動ができるよう、教室長・講師が防災意識を高めることを目的としています。

『明光義塾防災訓練』概要

- ◆開催日時：2025年4月5日（土）10：00～12：00
- ◆開催場所：明光義塾 九大学研都市教室 福岡県福岡市西区北原2-4-40-2F
- ◆スケジュール：
 - ①10:00～10:45 消防局員による、防災に関する講義
 - ②10:45～11:00 避難経路の確認
 - ③11:00～11:30 避難訓練の実施
 - ④11:30～12:00 非常食の試食体験



防災訓練では、福岡市消防局予防部防災センター防災普及係の守田消防指令と大石消防司令補から、地震や火災などの災害が起きた際の基本的な対処方法に加え、身の安全を確保する具体的な方法についても学びました。

学習塾に通う生徒の皆さんは、学校では避難訓練を受け、ご家庭ではご家族がそばにいますが、塾へは基本的に一人で通っています。そのため、通塾途中に災害などの緊急事態に遭遇する可能性も想定する必要があります。いざという時に生徒が自らの命を守れるようにするためには、まず講師自身が正しい知識と経験を持っていることが重要です。



参加した講師は実際に避難経路を確認し、指定された避難場所まで歩いて移動することで、緊急時の行動を体験的に理解するとともに、災害時の行動をより現実的に捉えるきっかけとなりました。また、今回は「自分が逃げる」だけでなく、「講師として生徒の安全を守るにはどうすべきか」を各自が主体的に考えることも重視しました。現場では、年齢や状況に応じた声掛けの方法、混乱時の誘導の工夫など、実際の場面を想定した意見交換も行われました。

さらに、非常食の試食体験も実施しました。非常食の作り方や保存方法について学ぶことで、災害時の食の重要性と備えの大切さを実感することができました。

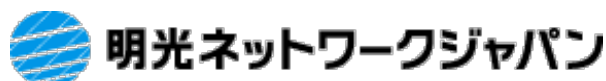
今後も、現場で実際に体験したからこそ得られる知恵を活かし、生徒の安全はもちろん、地域と連携しながら安全への意識を高め、継続的に取り組んでまいります。



◆株式会社明光ネットワークジャパンについて

企業としてPurpose（パーパス：存在意義）を「「やればできる」の記憶をつくる」、Visionを「Bright Light for the Future」人の可能性をひらく企業グループとなり、輝く未来を実現する」と掲げ、個別指導塾「明光義塾」を始め、さまざまな教育サービスを運営・フランチャイズ展開しています。

URL : <https://www.meikonet.co.jp/>



【本件に関するお問合せ先】

明光ネットワークジャパン広報担当：石田・井上

問い合わせ先：石田070-8792-5117

Mail: pr@meikonetwork.jp